# 広島平和体験学習に参加して

南中学校二年　島田　昂輝

僕は、ドラマや映画などでしか見たことのない戦争というものを、身近に感じてみたいと思い、長久手市の広島平和体験学習に参加しました。

広島の市電に乗って駅を降りると「原爆ドーム」が目の前に現れました。骨組だけの姿に圧倒されました。

一日目に訪れた平和記念資料館で、被爆したあとの写真や当時、船に乗って原爆を逃れた方の話を思いだしました。73年前、僕が乗っていた市電に座ったまま骨になってしまった方やすべてがとけてしまい影だけが階段に残ったままになってしまった方がいたこと、そして、この大きな建物さえもこのようにしてしまう原爆の破壊力は本当におそろしいと思いました。

平和記念公園には平和を願うたくさんの千羽鶴がかざられていました。僕たちも平和を

20 × 20

願い皆で折った鶴を寄贈してきました。

今、僕は、この平和な時代に何一つ不自由なく暮らしていると改めて感じることができました。「平和」という事が何より幸せだと思います。

昭和20年8月6日、午前8時15分、原爆投下でピカッと光り何が起きたかわからないまま、亡くなった方は何万人もいるとききました。

その方々の思いをいつまでも語りつぎ、平和の大切さを伝えていきたいとこの体験を通して感じることができました。

20 × 20